

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察防除情報第2号

茶のクワシロカイガラムシの防除対策について

本虫の第1世代の防除時期が近づいています。下記の点を参考にして適期防除をお願いします。

各圃場における発生状況に注意するとともに、今後の予測は当所のホームページで随時更新しますので参考にしてください。

記

1. 発生状況等

(1) 本虫第1世代のふ化盛期は、下表のとおり平年並と予測される。

表 第1世代のふ化盛期予測日(4月29日時点)

地区名	標高(m)	令和2年	令和元年	平成30年	平年 (過去10カ 年)
東彼杵町太の原	360	5/22	5/21	5/16	5/21
五島市上大津	77	5/11	5/12	5/5	5/11

注1) 方法は「有効積算温度則による防除適期予測法(農林技術開発センター茶業研究室)」により、東彼杵町太の原(農林技術開発センター茶業研究室による測定値)、五島市上大津(アメダスデータ)で予測した。

なお、それぞれ4月30日以降のデータは平年値を用いた。

注2) 気温が高くなるとふ化盛期が早まる可能性があるので注意する。

(2) 4月後期の巡回調査(16筆)の結果、発生を認めなかった(平年の寄生株率7.3%、発生圃場率41.8%)であった。

(3) 気象予報(福岡管区气象台、令和2年4月30日発表)によると向こう1か月の気温は高い見込みである。

2. 防除対策

(1) ふ化後の幼虫が1回脱皮してロウ質のカイガラを作りはじめると、薬剤の効果が低下するので、ふ化盛期(50%ふ化卵塊雌率が半数となった日)～ふ化盛期5日後までに防除する。現地ではふ化状況を調査している場合は、その調査に基づいて防除時期を判断する。なお、同一地区内の圃場でも標高や土地条件により気温が異なると、ふ化盛期が前後する場合があるので注意する。

(2) 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。

(3) 薬剤散布にあたっては、使用基準を遵守する。

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027

